

“ともに立ち上がろう！”

JBU 救援ニュース <第 12 号>

基幹労連
東日本大震災
中央災害対策本部
2011年6月3日(金)
www.kikan-roren.or.jp

～被災された多くの皆さまに心よりお見舞い申し上げます～

◆現在の被災状況

現在掌握できている組合員の人的被害 死亡12人、安否未確認1人(6月3日現在)

◆基幹労連全体で支え合うことをあらためて誓おう！

5月26日に開催された県本部事務局
長会議に出席された宮城県本部・池田事務
局長および福島県本部・佐藤事務局長より、
基幹労連全国の仲間からの温かいご支援
に感謝の意を頂戴しました。



また本日6月3日に岩手県本部・三浦委
員長が基幹労連本部へ来訪され、中央災害
対策本部会議の冒頭にご挨拶いただきま
した。「震災直後から基幹労連の仲間にご

支援をいただき心から感謝しています。困っている者を助けることが労働組合精神の真髄で
あり、“これぞ労働組合”との思いが胸にしみました。現地でも負けていられない、組合員
のため、地域のためにできることを頑張りたい」と力強い決意を述べられました。

これからも基幹労連全体で支え合っていきましょう！

◆カンパご協力へ御礼！

本日までで 150,526,379 円 (278 組織) を頂戴しました。誠にありがとうございます。7月
月上旬に、被災された方々にお届けできる予定です。基発224号で「被災状況調査依頼」を
送付しておりますが、「カンパ申請」も兼ねておりますので、**被害の有無にかかわらず必ず
ご提出願います。(6月17日締切)** なお、申請対象は「3.11 東北地方太平洋沖地震と、
それに伴って発生した津波およびその後の余震、さらに誘発されたとする地震により引き起
こされた大規模地震災害による罹災」です。

※ご不明な点は基幹労連本部へお問い合わせください(担当:山根・小西・渋澤)

◆ボランティア募集のお願い

① JBU パワーバンク～宮城県へ第2弾～

現在、JBU パワーバンクによる独自の活動を宮城県塩釜市で行っています。第2弾と
して6月12日から25日にかけて宮城県山元町で活動しますので、ご協力をお願いしま
す。なお、7～8月の夏休み期間中は他の多くのボランティア参加が予想されるため、J
BU パワーバンク独自の活動は実施しません。9月以降については今後検討します。

(基発230号参照)

第5陣：6月12日(日)～6月18日(土) 20名…締切6月 8日AM

第6陣：6月19日(日)～6月25日(土) ” …締切6月15日AM

(実動5日間)

② 連合ボランティア～岩手県釜石・大船渡・陸前高田周辺～

3月31日からスタートした連合ボランティアは、これまで切れ目のない派遣を継続し、連合全体で2,300人(延べ15,000人)が活動してきました。ご協力いただき誠にありがとうございます。次のとおり派遣要請が来ていますので、引き続きのご協力をお願いします。なお8月以降の活動については6月に決定する予定です。(基発231号参照)

第12陣：6月27日(月)～7月 3日(日) 20名	}	締切6月17日AM
第13陣：7月 3日(日)～7月 9日(土) //		
第14陣：7月10日(日)～7月16日(土) //		
第15陣：7月17日(日)～7月23日(土) //		
第16陣：7月24日(日)～7月30日(土) //		
(実動5日間)		

◆ボランティア報告

現在、JBUパワーバンクは第3陣が、また連合派遣については第9陣が活躍しています。現地からは、私たちの活動に対して、「とても真剣で誠実な取り組みに感謝しています。これからも頼りにしています」との声をいただいています。ボランティアに来て頂いている方にも、職場で仕事をカバーしている皆さんにも、心より御礼申し上げます。

★基幹労連からのボランティア参加者(6月3日まで) **272名**

★“パワーバンク精神”を再確認してください★

- 被災者の気持ちを大切に活動を！
 - 決して無理をしない！…休憩はしっかり、水分はこまめに、体調悪かったら休む、ケガをしないように
 - 被災地に迷惑かけない！…ゴミは持ち帰る、声を掛け合い安全確認を
- ※釘の踏み貫き、ガラスによるケガがおきています。充分ご注意ください。**

□ボランティア体験談

JBUパワーバンク～塩釜地区 第2陣より～

今回の東日本大震災による津波で実家が被災しました。大量の砂と被災ゴミを少ない家族で片付けるには限界を感じ途方に迷っていました。そんな時に災害ボランティアの方々のご協力により、GW期間中にほぼ片付を終える事が出来ました。黙々と汗をかきながら作業をして下さったボランティアの方々には身震いするほどの感謝と敬意を抱いた中、自分の所にもJBUパワーバンクよりボランティアの要請を頂き、恩返しの意味も込めて参加しました。

塩釜市ボランティアセンターへ派遣され、浸水した家屋の泥の除去に始まり、家財の運び出しや離島での作業。そして自衛隊との共同作業も経験し、貴重かつ、充実した一週間でした。「ありがとうございました」と挨拶をいただく度に、胸が熱くなりました。自分なりの恩返しができただかなと思います。

三菱マテリアル総連小名浜製錬所労組 小松 喜久男

※お父様が震災で亡くなっていますが、この度ボランティアに参加をいただきました

連合ボランティア～釜石地区 第5陣より～

今回第5陣として、連合ボランティアに参加しました。東和キャンプでは連合岩手の方々が常駐、活動のバックアップをして頂いており、ボランティア作業そのものに集中できる体制の下、活動に専念することができました。また連合のボランティアは、同じチームメンバーと継続的に作業をするため、作業体制の構築



が早く、非常に効率的に作業のできる体制になっていると感じました。このような環境で、充実した活動ができたと感じていますが、それでも今回私たちができた仕事は全体の被害から見ると些細なものでしかなく、今からも継続的にボランティア活動が必要であると感じています。今後も継続して復興活動に携わっていければと考えています。

住友金属鉱山東京労働組合 中島 健

連合ボランティア～釜石地区 第5陣より～



5月、ベースキャンプ周辺は花盛りの里山の風景。満開の桜を堪能し、チューリップや水仙に心を和まされる。一転、釜石の街中は瓦礫が山と積まれ、一部の建物の中には未だに津波の爪痕が残る。普通に停めてある車が、どうやったらこんな風に潰れるのか、電信柱にどんな力を加えたらこんなにいくつもに折れるのか、一方で潮で洗われた木々や地面から、新しい芽が出ているのを見つけ、今更ながら自然の強かさや奥深さを見せつけられる。いずれ復興なった岩手を訪れ、ボランティアとしてお手伝いさせていただいた場所を巡りたいと思う。一日も早い復興を願う。

住友重機械労働組合連合会 古谷洋子

※女性の方にも参加して頂き、おおいにご活躍頂いています。

以上

<基幹労連本部連絡先> 電話 03-3555-0401

土日・祝日・夜間(携帯電話)090-9412-5759